

# 三菱シーケンサ テクニカルニュース

No. FA-D-0101 1/9

2010年 12月発行

**表 題** A1SJ71B62-S3形B/NETインタフェースユニット生産中止のお知らせ

**適用機種** A1SJ71B62-S3

三菱シーケンサMELSEC-AnSシリーズに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、長い間ご愛顧いただいておりますMELSEC-AnSシリーズの一部機種の生産を、下記のとおり中止させていただきますので、ご了承の程宜しく願いいたします。

## 記

### 1. 生産中止機種

品 名	形 名
A1SJ71B62-S3形B/NETインタフェースユニット	A1SJ71B62-S3

### 2. 生産中止時期

- ・受注生産移行 2010年8月6日
- ・受注締め切り 2011年10月31日
- ・生産中止日 2011年11月30日

### 3. 生産中止理由

使用部品の一部が入手困難な状況であり、製品の継続生産に支障をきたすことが予想されるため。

### 4. 修理対応

- ・修理対応期間 2018年11月30日（生産中止後、7年間）

### 5. 置換え機種

生産中止機種	置換え機種
A1SJ71B62-S3	B-QIF

B-QIFに置き換えるには、MELSEC-Qシリーズへの置換えが必要です。

ただし、増設ベースユニットにQA1S6□Bを使用することで、MELSEC-AnSシリーズのユニットがMELSEC-Qシリーズのシステムで使用できます。（ 7. (1) (a) 生産中止機種(A1SJ71B62-S3)とCPUユニットを除く既存ユニットを流用した置換え例)

QA1S6□Bを使用する場合は、使用可能なCPUユニットおよび装着可能なユニットに制約があります。

詳細については、QCPUユーザーズマニュアル（ハードウェア設計・保守点検編）を参照してください。

## 6. A1SJ71B62-S3およびB-Q1Fの性能仕様の相違点

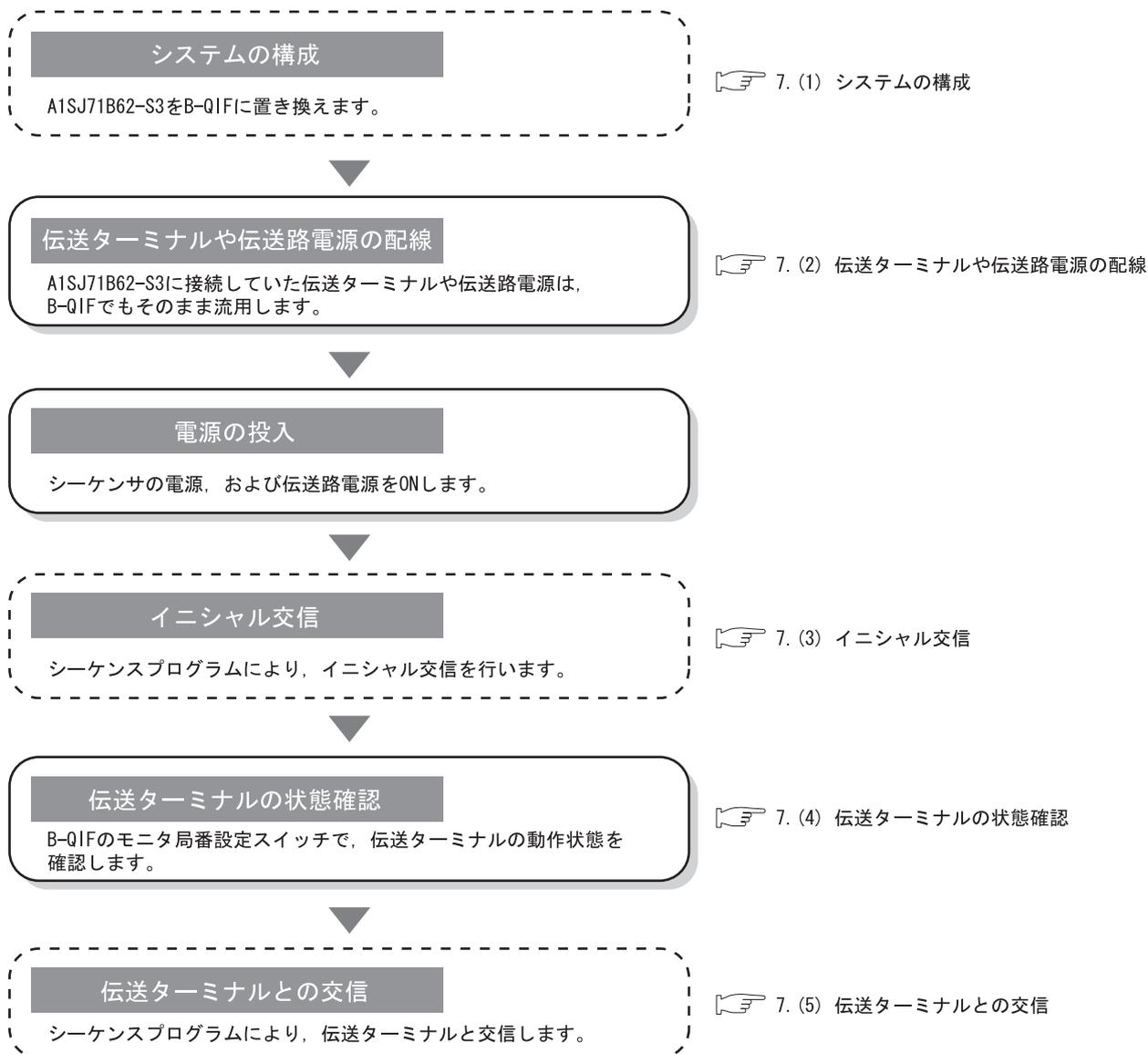
下記に、性能仕様の相違点を示します。

項目	A1SJ71B62-S3	B-Q1F
最大伝送ターミナル数	63台 (1~63局)	63台 (1~255局)
データ容量	2048ワード	8192ワード
入出力占有点数	32点	16点
DC5V内部消費電流	0.08A	約0.4A
外形寸法	130(H)×34.5(W)×108.1(D) [mm]	98(H)×27.4(W)×104.5(D) [mm]
質量	0.20kg	0.12kg

## 7. 置換えの手順

A1SJ71B62-S3からB-Q1Fへの置換え手順を示します。

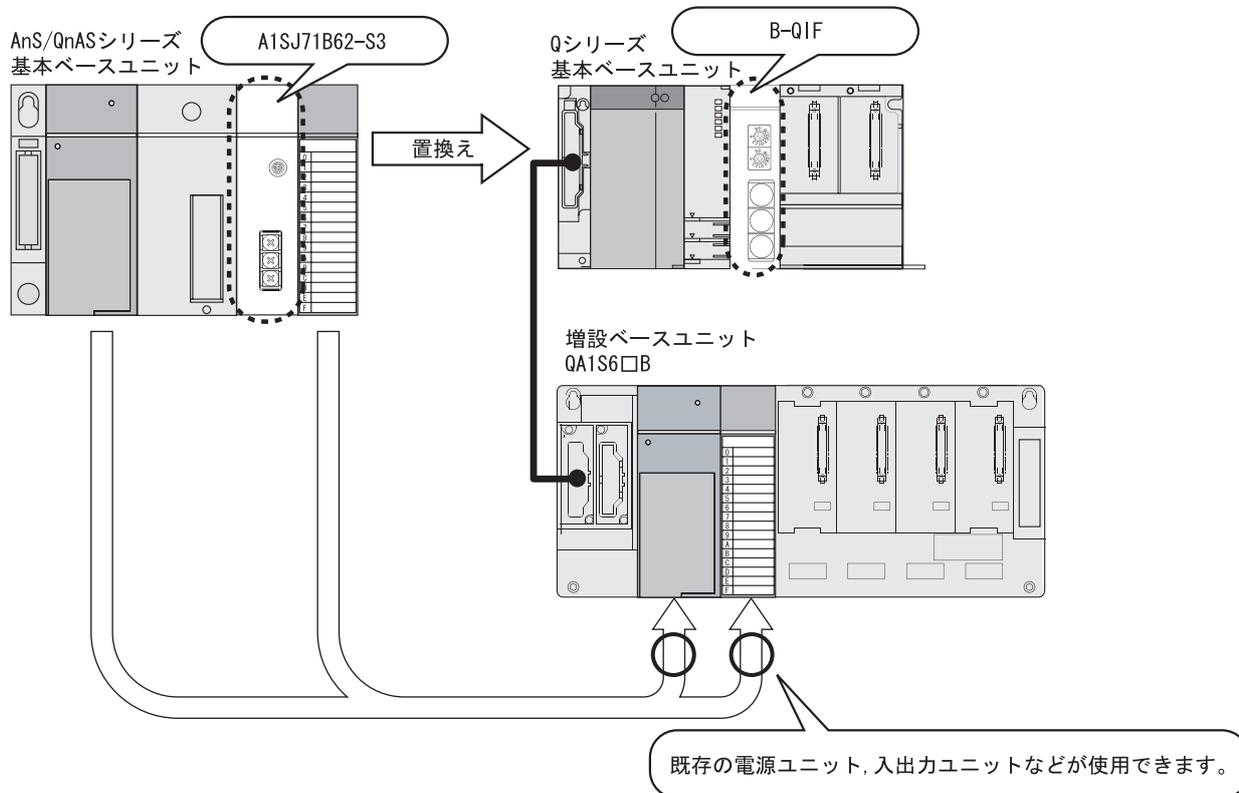
( ) の項目は、B-Q1Fへの置換え時に変更が必要です。



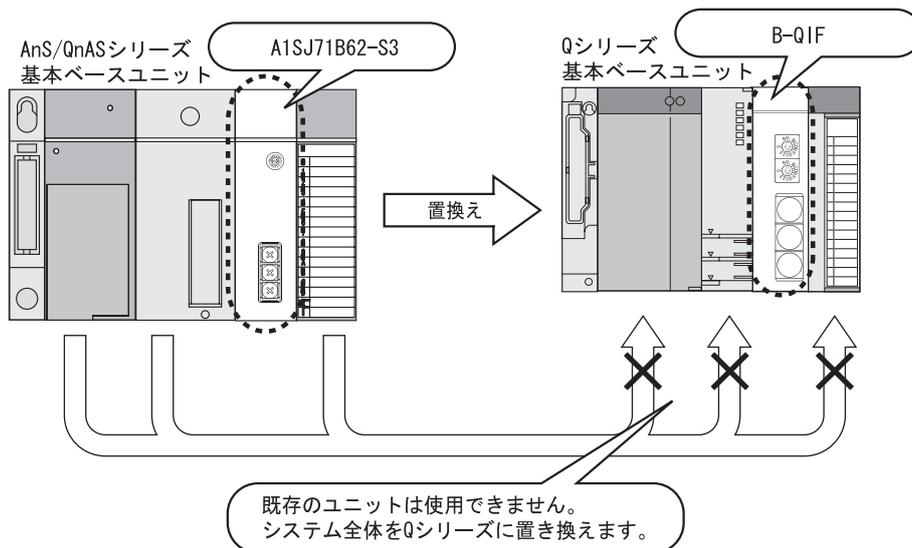
(1) システムの構成

下記のいずれかのシステム構成に置き換えます。

(a) 生産中止機種 (A1SJ71B62-S3) と CPU ユニットの除外既存ユニットを流用した置換え例

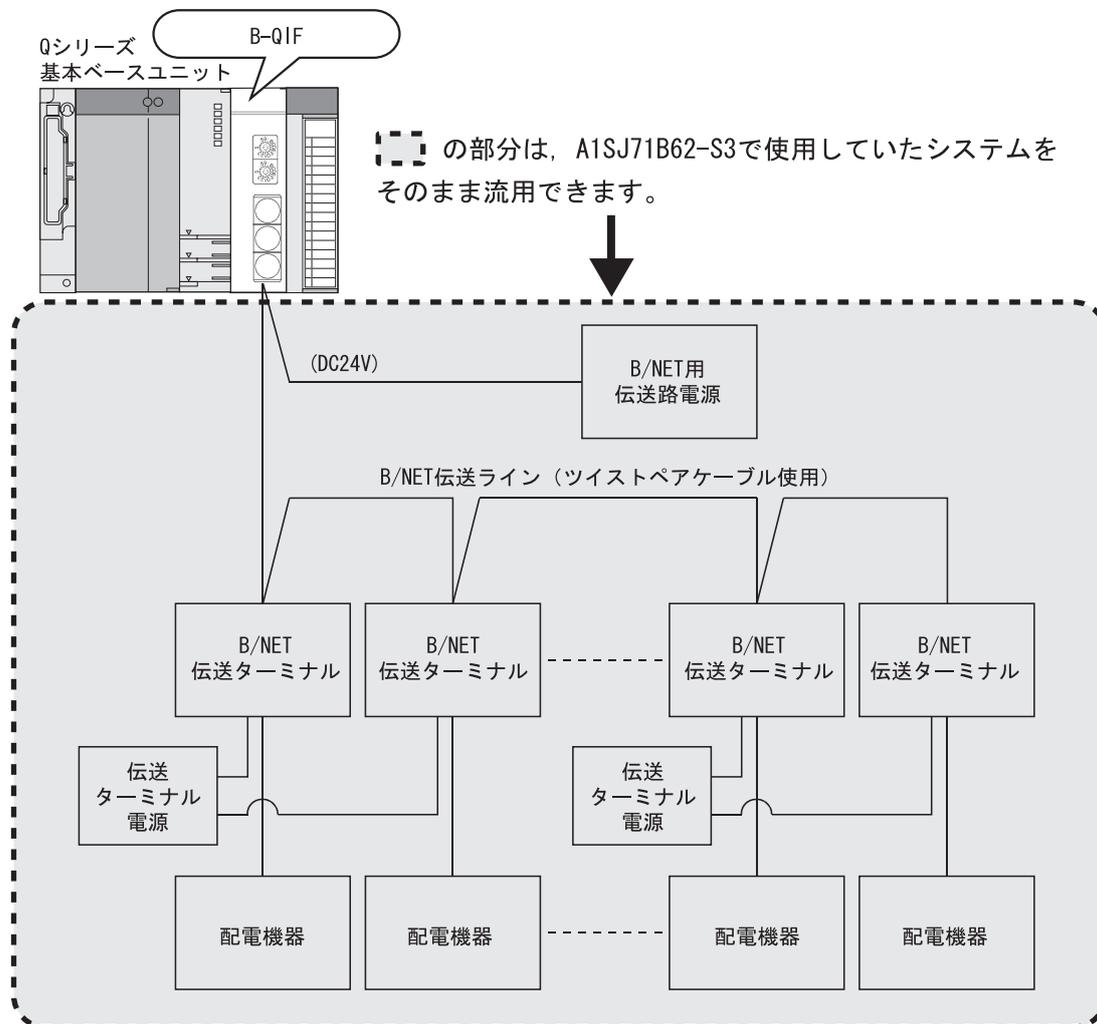


(b) すべてのユニットをQシリーズに置き換える場合の置換え例



(2) 伝送ターミナルや伝送路電源の配線

A1SJ71B62-S3に接続していた伝送ターミナルや伝送路電源は、B-QIFでもそのまま流用できます。また、配線および伝送ターミナルの局番も変更不要です。



B/NETの伝送ターミナル、伝送路電源の仕様、取扱いなどについては、使用するB/NET機器のマニュアルを参照してください。

(3) イニシャル交信

イニシャル交信用のシーケンスプログラムを作成し、イニシャル交信を行います。

B-QIFは、入出力信号とバッファメモリがA1SJ71B62-S3と異なります。

イニシャル交信のシーケンスプログラムは、新規に作成してください。

プログラム例については、B/NETインタフェースユニットユーザズマニュアル（詳細編）を参照してください。

(a) 入力信号

B-QIFの入力信号番号はA1SJ71B62-S3と同じですが、ON/OFFの動作条件が異なります。

○：互換性あり，△：一部変更あり

A1SJ71B62-S3の入力信号		互換性	置換え時の留意点
X0	ハードウェア異常	△	B-QIFでは、ユニットREADY(X0)をハードウェア異常信号として使用します。また、ON/OFFの動作条件が異なります。
X1	イニシャル交信完了	△	B-QIFでは、ON/OFFの動作条件が異なります。
X2	(使用不可)	○	—
X3	バイトデータ局交信完了	△	B-QIFでは、ON/OFFの動作条件が異なります。
X4	バイトデータ局通報受信有り	△	
X5	一斉同報送信完了	△	
X6	一斉同報受信完了	△	
X7	異常検出	○	—
X8	システムエラー検出	△	B-QIFでは、ON/OFFの動作条件が異なります。
X9	パラメータ異常	△	
XA~XF	(使用禁止)	○	—
X10~X1F	(使用禁止)	△	B-QIFは、入出力占有点数が16点のため使用しません。

(b) 出力信号

B-QIFの出力信号番号およびON/OFFの動作条件が、A1SJ71B62-S3と異なります。

○：互換性あり，△：一部変更あり

A1SJ71B62-S3の出力信号		互換性	置換え時の留意点
Y0~YF	(使用禁止)	△	B-QIFでは、Y0~YFを各種要求の信号として使用します。
Y10	交信起動	△	B-QIFでは、交信起動(Y0)を使用します。また、ON/OFFの動作条件が異なります。
Y11	モニタ交信(有/無)	△	B-QIFでは、モニタ交信(有/無)(Y1)を使用します。
Y12	伝送モード切換え	△	B-QIFでは、伝送モード切換え(Y2)を使用します。また、ON/OFFの動作条件が異なります。
Y13	バイトデータ局送信要求	△	B-QIFでは、バイトデータ局送信要求(Y3)を使用します。
Y14	通報読出し要求	△	B-QIFでは、通報読出し要求(Y4)を使用します。
Y15	一斉同報送信要求	△	B-QIFでは、一斉同報送信要求(Y5)を使用します。
Y16	一斉同報受信データ読出完了	△	B-QIFでは、一斉同報受信データ読出完了(Y6)を使用します。
Y17~Y1C	(使用禁止)	△	B-QIFは、入出力占有点数が16点のため使用しません。
Y1D	異常リセット	△	B-QIFでは、エラークリア要求(YF)を使用します。また、ON/OFFの動作条件が異なります。
Y1E~Y1F	(使用禁止)	△	B-QIFは、入出力占有点数が16点のため使用しません。

## (c) バッファメモリ

B-QIFでは局番64～255が設定可能になったため、バッファメモリアドレスの割付けがA1SJ71B62-S3と異なります。

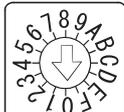
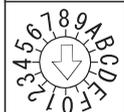
バッファメモリアドレス (10進数 (16進数))		内 容
A1SJ71B62-S3	B-QIF	
0～125 (0H～7DH)	0～509 (0H～1FDH)	パラメータ
126～188 (7EH～BCH)	510～764 (1FEH～2FCH)	ビットデータ局入力情報
189～251 (BDH～FBH)	765～1019 (2FDH～3FBH)	ビットデータ局出力情報
252～255 (FCH～FFH)	1020～1035 (3FCH～40BH)	バイトデータ局向け送信要求フラグ
256～822 (100H～336H)	1036～3330 (40CH～D02H)	バイトデータ局向け送信データ
823～1326 (337H～52EH)	3331～5370 (D03H～14FAH)	バイトデータ局受信データ
1327～1330 (52FH～532H)	5371～5386 (14FBH～150AH)	バイトデータ局通報受信フラグ
1331～1834 (533H～72AH)	5387～7426 (150BH～1D02H)	バイトデータ局通報受信データ
1835～1843 (72BH～733H)	7427～7435 (1D03H～1D0BH)	一斉同報送信データ
1844～1851 (734H～73BH)	7436～7443 (1D0CH～1D13H)	一斉同報受信データ
1852 (73CH)	7444 (1D14H)	一斉同報通報局番
1853～1856 (73DH～740H)	7445～7460 (1D15H～1D24H)	累積異常局検出
1857～1860 (741H～744H)	7461～7476 (1D25H～1D34H)	異常局検出
1861 (745H)	7477 (1D35H)	システムエラー
1862～1924 (746H～784H)	7478～7732 (1D36H～1E34H)	エラーコード

(4) 伝送ターミナルの状態確認

B-QIF前面のモニタ局番設定スイッチ（ロータリスイッチ）を切り換えて、伝送ターミナルの動作状態を確認します。

確認手順は、A1SJ71B62-S3と同様です。

ただし、B-QIFでは局番64～255が設定可能になったため、モニタ局番設定スイッチが2つに増えています。

B-QIFのロータリスイッチ	B-QIFのモニタ局番設定スイッチ		選択局番	機能
	No. 1	No. 2		
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>STATION ADDRESS</p>  </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>No. 1</p>  </div> <div> <p>No. 2</p>  </div> </div>	0	0	1～8局	ロータリスイッチのSTATION ADDRESS設定により、8局単位でLED表示する局番が選択できます。
	1	0	9～16局	
	2	0	17～24局	
	3	0	25～32局	
	4	0	33～40局	
	5	0	41～48局	
	6	0	49～56局	
	7	0	57～64局	
	8	0	65～72局	
	9	0	73～80局	
	A	0	81～88局	
	B	0	89～96局	
	C	0	97～104局	
	D	0	105～112局	
	E	0	113～120局	
	F	0	121～128局	
	0	1	129～136局	
	1	1	137～144局	
	2	1	145～152局	
	3	1	153～160局	
	4	1	161～168局	
	5	1	169～176局	
	6	1	177～184局	
	7	1	185～192局	
	8	1	193～200局	
	9	1	201～208局	
	A	1	209～216局	
	B	1	217～224局	
	C	1	225～232局	
	D	1	233～240局	
	E	1	241～248局	
	F	1	249～255局	
0～E	2～F	未使用	—	
F	F	使用禁止	LEDテストモードとなり、正常動作しません。	

(5) 伝送ターミナルとの交信

交信用のシーケンスプログラムを作成し、伝送ターミナルと交信します。

B-QIFは、入出力信号とバッファメモリがA1SJ71B62-S3と異なります。

伝送ターミナルとの交信のシーケンスプログラムは、新規に作成してください。

入出力信号およびバッファメモリの相違点については、「7. (3) イニシャル交信」を参照してください。

プログラム例については、B/NETインタフェースユニットユーザズマニュアル（詳細編）を参照してください。

8. 関連マニュアル

置換え時は、下記のマニュアルを参照してください。

マニュアル名称	マニュアル番号
B/NETインタフェースユニットユーザーズマニュアル (詳細編)	1B-64028

**三菱電機株式会社** 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒100-8310	東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)	(03) 3218-6760
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区北二条西4-1(北海道ビル)	(011) 212-3794
東北支社	〒980-0011	仙台市青葉区上杉1-17-7(仙台上杉ビル)	(022) 216-4546
関東支社	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2(明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクシス・タワー)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通2-4-10(日本生命ビル)	(025) 241-7227
神奈川支社	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1(横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1(金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-8522	名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル)	(052) 565-3314
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10(矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
関西支社	〒530-8206	大阪市北区堂島2-2-2(近鉄堂島ビル)	(06) 6347-2771
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32(ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5348
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8(日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1(天神ビル)	(092) 721-2247

**インターネットによる三菱電機FA機器技術情報サービス**

MELFANSwebホームページ: <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>  
 MELFANSwebのFAランドでは、体験版ソフトウェアやソフトウェアアップデートのダウンロードサービス、MELSECシリーズのオンラインマニュアル、Q&Aサービス等がご利用いただけます。FAランドのID登録(無料)が必要です。

**三菱電機FA機器 TEL, FAX技術相談**

※1: 土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始の休日を除く通常業務日  
 ※2: ACサーボ、モーション窓口にて対応します  
 ※3: 春期・夏期・年末年始の休日を除く

●電話技術相談窓口

対象機種	電話番号	受付時間※1
MELSEC-Q/L/QnA/Aシーケンサ	シーケンサー一般(下記以外)	052-711-5111
	ネットワーク、シリアルコミュニケーションユニット	052-712-2578
	位置決めユニット、シンプルモーション ※2	052-712-6607
	アナログ、温調、温度入力、高速カウンタユニット	052-712-2579
	C言語コントローラ/MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット	052-712-2370
MELSOFTシーケンサプログラミングツール	電力計測ユニット(QE8口)	052-719-4557
	MELSOFT iQ Works (Navigator)、MELSOFT GXシリーズ、SW口 IVD-GPPA/GPPQなど	052-711-0037
MELSOFT通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ、SW口D5F-GSKP/OLEX/XMOPなど	052-719-4557
MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど	052-712-2370
MELSEC計装/Q二重化	プロセスCPU、二重化CPU、MELSOFT PXシリーズ	052-712-2830
MELSEC Safety	安全シーケンサ/安全コントローラ	052-712-3079
GOT表示器	GOT1000/A900シリーズなど、MELSOFT GTシリーズ	052-712-2417

●FAX技術相談窓口

対象機種	FAX番号	受付時間※1
上記対象機種(電力計測ユニット(QE8口)を除く)	052-719-6762	9:00~16:00(受信は常時※3)
電力計測ユニット(QE8口)	084-926-8340	9:00~15:00(受信は常時※3)

**安全に関するご注意**

本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくためご使用前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。